

# 事故耐性燃料開発に関する

# ワークショップ

## Workshop on Development of ATF for LWR

- Current status and future challenges in enhancing the nuclear safety -

- 東京大学大学院工学系研究科および日本原子力研究開発機構では、原子力の継続的な安全性向上の観点から、事故耐性燃料(ATF)の開発を進めています。
- 今年度のATFワークショップでは、国内ATF開発における関係者の連携に向けた示唆を得ることを目的に、クロムコーティング被覆管を対象として、重要技術課題を解決するための研究開発と効率的・効果的な枠組みや体制について議論します。一般の方も参加できますので、ふるってご参加ください。

2024年12月11日(水)  
13:00~17:00(12:30開場)

HASEKO-KUMA  
HALL

※ Web同時配信も予定しています。

### お申込み先

日本原子力研究開発機構原子力基礎工学研究センター

<https://nsec.jaea.go.jp/>

※右側のQRコードからも、お申込み頂けます。



### プログラム

開会挨拶 日本原子力研究開発機構 門馬 利行 氏  
『本ワークショップ開催の趣旨説明』 日本原子力研究開発機構 逢坂 正彦 氏

≫ 講演 13:10 ~ 14:10

『原子力の活用に向けた安全性向上の取組』 経済産業省資源エネルギー庁 堀井 雄太 氏

『国内におけるATF開発(実装化)状況と研究開発概要』  
日本原子力研究開発機構 原子力基礎工学研究センター モハマド アフィカ 氏

『ATFの実現に向けた課題の整理』  
東京大学大学院工学系研究科 阿部 弘亨 氏

≫ パネル討論 14:20 ~ 15:20

● 議題：ATF導入に向けた関係者の連携(プラットフォームの構築)に向けて

モデレーター：阿部 弘亨 氏(東京大学)

パネリスト：山本 章夫 氏(名古屋大学)、江口 裕 氏(原子力規制庁)、荻田 利幸 氏(関西電力)  
佐藤 大樹 氏(三菱重工業)、山下 真一郎 氏(日本原子力研究開発機構)

≫ ポスターセッション ※12:30から開場。 15:30 ~ 16:50

発表者所属：東京大学、早稲田大学、北海道大学、横浜国立大学、近畿大学、東北大学、電中研、三菱重工、東芝ESS、日立GE、日本核燃料開発、量研機構、工ネ総工研、原子力機構

≫ まとめ、講評 16:50 ~ 17:00

閉会挨拶 東京大学大学院工学系研究科 阿部 弘亨 氏

主 催：東京大学大学院工学系研究科  
日本原子力研究開発機構原子力基礎工学研究センター  
協 賛：日本原子力学会 核燃料部会・水化学部会・材料部会  
日本原子力学会標準委員会システム安全専門部会

お問合せ先  
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
原子力基礎工学研究センター  
E-mail：[nsec-atfws@jaea.go.jp](mailto:nsec-atfws@jaea.go.jp)